

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公表番号】特表 2007-525465 (P2007-525465A)

【公表日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2007-034

【出願番号】特願 2006-514911 (P2006-514911)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 11/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 31/14 (2006.01)**

**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/395 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/7088 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 45/06 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/50 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/15 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 45/06

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 28 日 (2007.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

[082] 上記に述べた特異的な反応は、抗原が、高選択性にその対応する抗体と反応し、そして他の抗原によって惹起されることが可能な多数の他の抗体とは反応しないであろうことを示すことになる。本発明の抗 T N F 抗体の抗体、断片および領域と結合する好ましい抗原には、h T N F - のアミノ酸残基 87 ~ 108、あるいは残基 59 ~ 80 および 8 ~ 108 の両方、のうち少なくとも一つを含む、少なくとも 5 アミノ酸が含まれる。本発明の抗 T N F 抗体の抗体、断片および領域と結合する好ましい抗原は、h T N F - のアミノ酸 11 ~ 13、37 ~ 42、49 ~ 57 または 155 ~ 157 のアミノ酸を含ま

ない。